

青谷高等学校活性化を支援する会について

1 組織名

青谷高等学校活性化を支援する会

2 設立経過

「鳥取県立青谷高等学校の存続」は、青谷地域はもとより、鳥取市西部地域の今後の活性化に不可欠との認識から、「青谷高等学校のあり方を考える協議会」を平成26年12月に立ち上げ、関係機関への要望活動や先進地視察等に取り組んできた。

平成28年3月に「今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針」が公表され、平成31年度以降の生徒数の減少への対応については、分校化や再編等ではなく、「原則として学級減で対応する」とともに、「特色ある取り組みを推進する学校の存続に最大限努力する」とこととされたところである。

このことにより「青谷高等学校のあり方を考える協議会」は、一定の役割を終えたものとして平成29年1月に解散した。

以降、青谷高校の特色ある取り組みの支援を地域として行うため、この協議会に代わる新たな組織として「青谷高等学校活性化を支援する会」を立ち上げ、現在に至る。

3 目的

青谷地域はもとより、鳥取市西部地域の今後の活性化の観点からも青谷高校は必要不可欠な地域資源であると認識し、青谷高校の特色ある教育活動や、地域と青谷高校の連携を深めるための活動を支援することで、青谷高校の活性化に繋げる。

4 事業

- (1) 青谷高校の特色ある教育活動を支援する。
- (2) 地域課題の解決に向けて、地域と青谷高校の連携を深めるための活動を行う。

5 組織

(1)青谷高等学校活性化を支援する会(全体会)

構成員:委員約12名(地域住民、行政関係者、青谷高校関係者 など)

(2) 専門部会

事業を実施するため、専門部会を置く。

① 地域連携部会

構成員：部会員約7名(和紙関係者、農林漁業者、マリンスポーツ関係者、地域づくりグループ など)

活動例：

- ・「青谷学」等、地域資源、人材を活かした青谷高校の教育活動への支援
- ・保育所、学校との連携活動への支援
- ・地域イベント等への青谷高校生の参画、ボランティア活動の推進協力 等

② 部活動支援部会

構成員：部会員約7名(卓球関係者、スポーツ関係者、地域住民 など)

活動例：

- ・「卓球のまち 青谷」復活のための活動
- ・青谷高校の伝統である卓球を活用した取り組み 等

6 組織の見直しによる委員参加

「青谷地域振興未来会議」の前会議体である「青谷地域振興会議」から、長谷川和郎前会長、濱江和恵前副会長が参画し、青谷高校の活性化について地域代表として議論に参加していた。

今後は、新たな組織体制で地域振興未来会議から1名選出し、活性化に向けて意見をいただきたい。

青谷高等学校活性化を支援する会 委員名簿（令和7年度）

	役職名	氏 名	所 属
1	会 長	前田 哲雄	元青谷中学校長（公立鳥取環境大学 教授）
2	副会長	高橋 克己	部活動支援部会部会長
3	副会長	長谷川和郎	地域連携部会部会長
4	委 員	森 佳樹	地域連携部会（あおや郷土館 館長）
5	委 員	大谷 拓	部活動支援部会
6	委 員		青谷町地域振興未来会議 委員
7	委 員	伊藤 龍	青谷町自治連合会 理事
8	委 員	三浦 泰子	青谷高等学校校長
9	委 員	植田 勝美	青谷高等学校同窓会 代表
10	委 員	徳原 一実	青谷高等学校 地域コーディネーター
11	委 員	佐々木 敏彦	青谷町総合支所支所長
12	顧 問	倉恒 俊一	青谷高等学校同窓会会長

事務局	田中 陽一	青谷町総合支所副支所長兼地域振興課課長
	山田 健一	青谷町総合支所地域振興課課長補佐

青谷高等学校活性化を支援する会規約（改正案）

（目的）

第1条 鳥取県立青谷高等学校（以下「青谷高校」という。）は、青谷地域はもとより、鳥取市西部地域の今後の活性化の観点からも必要不可欠な地域資源である。この会は、青谷高校の特色ある教育活動を支援するとともに、地域課題の解決に向けて、地域と青谷高校の連携を深めるための活動を行い、もって青谷高校の活性化に繋げることを目的とする。

（名称）

第2条 この会の名称は、青谷高等学校活性化を支援する会（以下「支援する会」という。）とする。

（組織）

第3条 支援する会は、地域住民、行政関係者、青谷高校関係者等からなる委員で組織する。

2 支援する会に顧問を置くことができる。

（事業）

第4条 支援する会は、青谷高校の特色ある教育活動を支援するとともに、地域課題の解決に向けて、地域と青谷高校の連携を深めるための活動を行う。

（専門部会）

第5条 事業を実施するため、次のとおり専門部会を置く。

（1）地域連携部会

- ・「青谷学」等、地域資源、人材を活かした教育活動の支援を行う。
- ・保育所、学校との連携活動を支援する。
- ・地域イベント等への青谷高校生の参画、ボランティア活動の推進協力を行う。

（2）部活動支援部会

- ・「卓球のまち 青谷」復活のための活動を行う。
- ・青谷高校の伝統である卓球を活用した取り組みを行う。
- ・青谷高校の部活動及び課外活動の活性化に資する支援を行う。

2 専門部会は、部会員で構成され、まとめ役として部会長を置く。部会長は、部会員の互選により選出される。

3 必要に応じて、専門部会を新たに置くことができる。

(事務局の所在地)

第6条 支援する会の事務局は、青谷町総合支所地域振興課内に置く。

(役員)

第7条 支援する会に会長1名、副会長2名以内を置く。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長が欠けたときまたは事故ある時は、職務を代理する。

4 会長、副会長は、支援する会委員の互選により選出する。

(会議)

第8条 支援する会の会議は、会長がこれを招集し、会議の議長となる。

2 会議は、支援する会委員をもって構成する。なお、各専門部会から、委員を若干名選出するものとする。

(補則)

第9条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は支援する会において定める。

附則

この規約は、平成29年9月27日から施行する。

附則

この規約は、令和8年2月25日から施行する。



とっとりけんりつあおやこうとうがっこう

鳥取県立青谷高等学校

ミライのジブンをつくる

#個室

#ホームステイ

#海の近く

#雪国暮らし

#ものづくり・工業系

#総合学科

#地域連携・実践型探究

学校の資料を確認



学費・生活費を見る



— 越えて、行こう。 —
地域みらい留学



学校の特長

自分の「できる！」がきっと見つかる！

青谷高校は、単位制の総合学科の高校です。その一番の特色は、たくさんの科目の中から自分の興味・関心・進路希望に応じた科目を選択して学習できることです。2年次から3つの系列に分かれますが、系列に関係なく科目を選択できる自由選択群もあります。興味・関心がある科目を学習して教養はもちろん、感性や人間力も高めることができます。1年次の選択方法は3通りですが、2年次は最大140通り、3年次は540通りを超えるなど、総合学科ならではの特色ある授業がたくさんあります。

学科・コースの学びの特長

ミライのジブンをつくる

青谷高校は、総合学科です。1年次では、5教科を中心に学び、「産業社会と人間」という科目で、探究学習を行います。

2年次からは、将来の方向性を考えて3つの系列の中から選択し、系統的に学習を進めていきます。また、地域と連携した体験的な学びに取り組み、社会で信頼され、社会に貢献する人材の育成を目指しています。



地域とシンクロ！

学校がある鳥取市青谷町は、自然・歴史・産業・文化がとにかくたくさんあります。また、「山陰海岸ジオパーク」の西端に位置しており、5分も歩けば雄大な日本海が目の前に広がります。地域の方を外部講師として招いて、1年次から様々な講演会や授業を展開しています。2年次では、学校設定科目「青谷学Ⅰ」において地域の魅力を再発見したり課題を発見したりしています。3年次では、「青谷学Ⅱ」（総合的な探究の時間）において2年次の「青谷学Ⅰ」で学んだ魅力や課題を深掘りし、課題解決策を考えます。これらの発見や解決策を考える際には、1年次同様に、地域の方を外部講師として招いて指導していただいています。青谷地域に限られていますが、地域の方とともに培った学びは、自分自身の地域でも生かすことができます。



生活・住まいの様子

地域とシンクロ！

本校では、令和5年度入学生から県外生の受け入れを特色入試において実施しています。現在は1名の生徒が学校近くの下宿先から通学しています。（徒歩10分程度）現在、鳥取県の県外生徒のふるさとファミリー制度等を利用して近隣の下宿先等を募集、相談し、整備を進めている。

本校は、100mほどで真っ青な日本海、のどかな田園、鷲峰山、そして弥生人の人骨発掘で有名な青谷上寺地遺跡など自然豊かで歴史に溢れる環境の中にあります。こういった環境の中で普通教科はもちろん、総合学科の特色である選択科目を多く設置し、夢実現に向けて自分自身を磨けるようにしています。その中には、2年次全員履修「青谷学Ⅰ」、3年次全員履修「青谷学Ⅱ（総合的な探究の時間）」があり、自然・歴史・産業・文化豊かな地域の魅力を発見したり、課題を発見して解決策を考えたりしています。また、その際には地元の方々を外部講師として招いて、より実践的に取り組んでいます。これらの授業で培った思考力や判断力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などは、将来に役立つはずで。

地域連携に意欲的に取り組んでみたいという人を待っています。



イチオン部活

卓球部

現在、男子5名、女子1名が、少数精鋭ですがインターハイ出場目指して頑張っています。

特に男子団体は、過去、インターハイ30回出場（24年連続出場を含みます）を果たしている伝統があります。

顧問も卓球経験者ですが、OBの方を外部指導者として配置し、より高度な技術指導をしていただいています。

アーカイブ動画





詳細情報

学校概要

住所

689-0595
鳥取県鳥取市青谷町青谷2912

TEL

0857850511

学校タイプ

全日制

学校種別

共学

県外生徒募集の定員

3名

学科・コース**教員数**

42名

生徒数(2025年度)

全校生徒 117名(男49女68)

┆1年生2クラス 39名(男17女22)/内県外生徒0

┆2年生2クラス 40名(男16女24)/内県外生徒1

┆3年生2クラス 38名(男16女22)/内県外生徒0

制服



学費・生活費

入学初年度の経費等

入学金	5,550円
授業料	9,900円
制服	50,000円
体操服・体育用品等	15,000円
教科書・副教材等	0円
PC・タブレット等	55,000円
修学旅行積立金	55,000円
学校諸費	66,800円
合計	257,250円

学校諸費は年額（PTA会費・生徒会費・及び教材費等）
修学旅行積立金は全額

生活費（月）

住居費（月額/円）	60,000円
食費（月額/円）	0円
光熱費（月額/円）	0円
合計	60,000円


学校諸費は年額（PTA会費・生徒会費・及び教材費等）
修学旅行積立金は全額


居住タイプ

住居タイプ	ホームステイ
部屋のタイプ	個室


 ホーム


 ホーム


 住居のサポート


 ハウスマスター

部活動

バレーボール部

男

女

バスケットボール部

男

女

卓球部

男

女

バドミントン部

男

女

弓道

男

女

陸上競技部

男

女

吹奏楽部

男

女

美術部

男

女

書道部

男

女

茶華道部

男

女

部落解放研究部

男

女

ビジネスライセンス同好会

男

女

E S S 同好会

男

女

青谷探究同好会

男

女

進んでいこう。
地域みらい留学



卒業後の進路

卒業後の進路	国公立大学	私立大学	短期大学	専門学校	就職
2024年度	0	4	7	11	25
2023年度	0	1	0	20	28
2022年度	0	2	13	21	42

資料ダウンロード

カリキュラム →

パンフレット →

受検要項関連資料

資料はありません。

学校のサイト・SNS

<https://www.torikyo.ed.jp/aoya-h/>



[学校一覧に戻る ↶](#)

以降、その他配布資料